

【地域リハ塾】

2018年開講



理念

地域リハ塾は、地域リハビリテーションを推進するリーダーを育成することにより、地域包括ケアシステムを支える地域リハビリテーション体制を構築し、地域づくりに貢献する。

戦略

- ◇ 先達による地域リハマインドの伝承
- ◇ 地域リハマインドの普及に携わるリーダーの養成
- ◇ リーダーは、以降地域リハ塾のカリキュラム作成と運営を中心的に務める



地域リハ塾 プログラム

【1日目】

13:00~18:00
先達の講義



18:30~深夜
懇親会



【2日目】

9:00 ~グループワーク
13:30~成果発表



先達が語る 私の地域リハビリテーション

※塾での講義順に掲載

浜村明德先生 「俺がやらんば誰がやる」

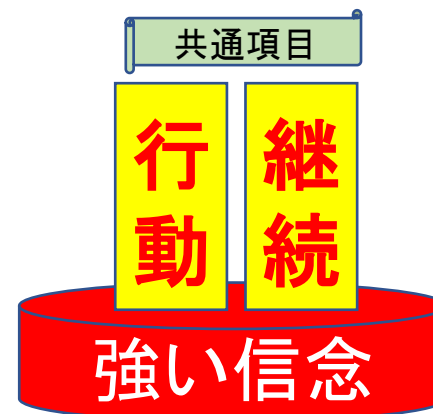
澤村誠志先生 「やってなんぼ」

石川 誠先生 「教わったら、すぐ実践」

大田仁史先生 「活動人生」

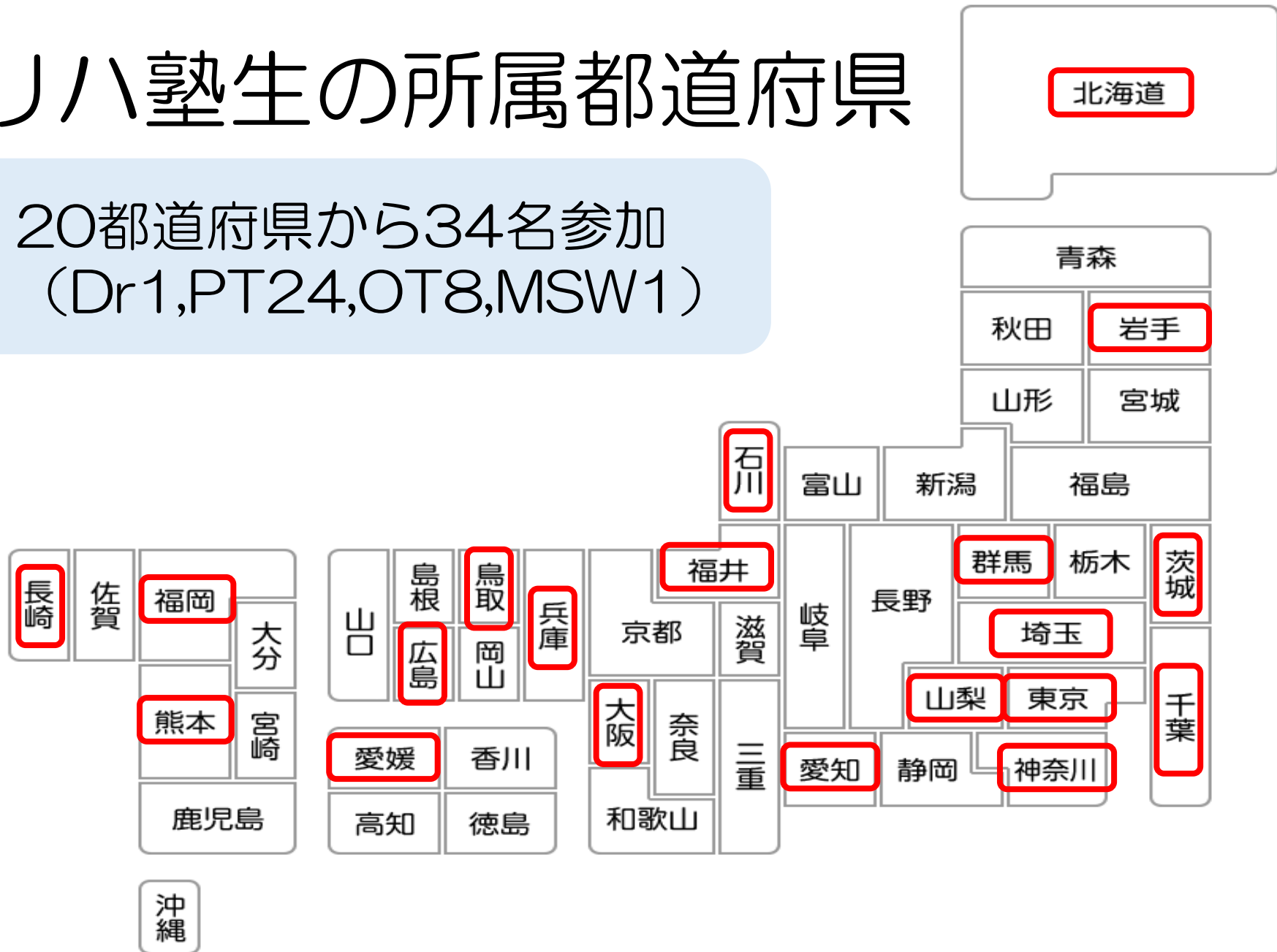
栗原正紀先生 「ニーズは現場にある やればいい」

斉藤正身先生 「地域なくしてリハビリテーションは
成り立たない」



地域リハ塾生の所属都道府県

20都道府県から34名参加
(Dr1,PT24,OT8,MSW1)



地域リハ塾生 これまでの実践

2019年~2020年



リハ・ケア合同研究大会
シンポジウム



実践報告会



先進施設視察



海外視察

地域リハ塾生 現在の実践 2020年～



WEBを活用したブロック毎の実践報告会
※メール配信者も参加可能



リハ・ケア合同研究大会
苫小牧2022 シンポジウム



広報誌の執筆

地域リハ塾としての今後の実践活動 2020年～

テーマ：「地域リハビリテーションの実践継続と発展」

取り組み項目：

- 仲間づくり
- ブロック単位で行う、地域リハビリテーション実践と共有
- 情報発信（地域リハビリテーションの普及啓発）

●仲間づくり



- ⇒一定のリハビリテーションマインドを学ぶ研修会企画の実践
- ⇒地域リハ塾の開講（リハ塾1期生の養成）
- ⇒塾長をはじめとする先達の先生方の講義＋塾生によるグループ
ディスカッション形式の共有

●WEBを活用した、ブロック単位で行う実践と共有



- ⇒ブロックごとに、地域リハ塾生全体で共有する機会を年1回（全5回）は設ける
- ⇒各ブロックエリアに在籍する、地域リハ塾門下生の発掘
- ⇒メール配信者への情報発信

●情報発信（地域リハビリテーションの普及啓発）



○リハビリテーションケア合同研究大会での発信

○協会誌執筆

⇒ブロックごとの地域リハビリテーションの実践について報告

地域リハ塾2022 ～1期生の養成～

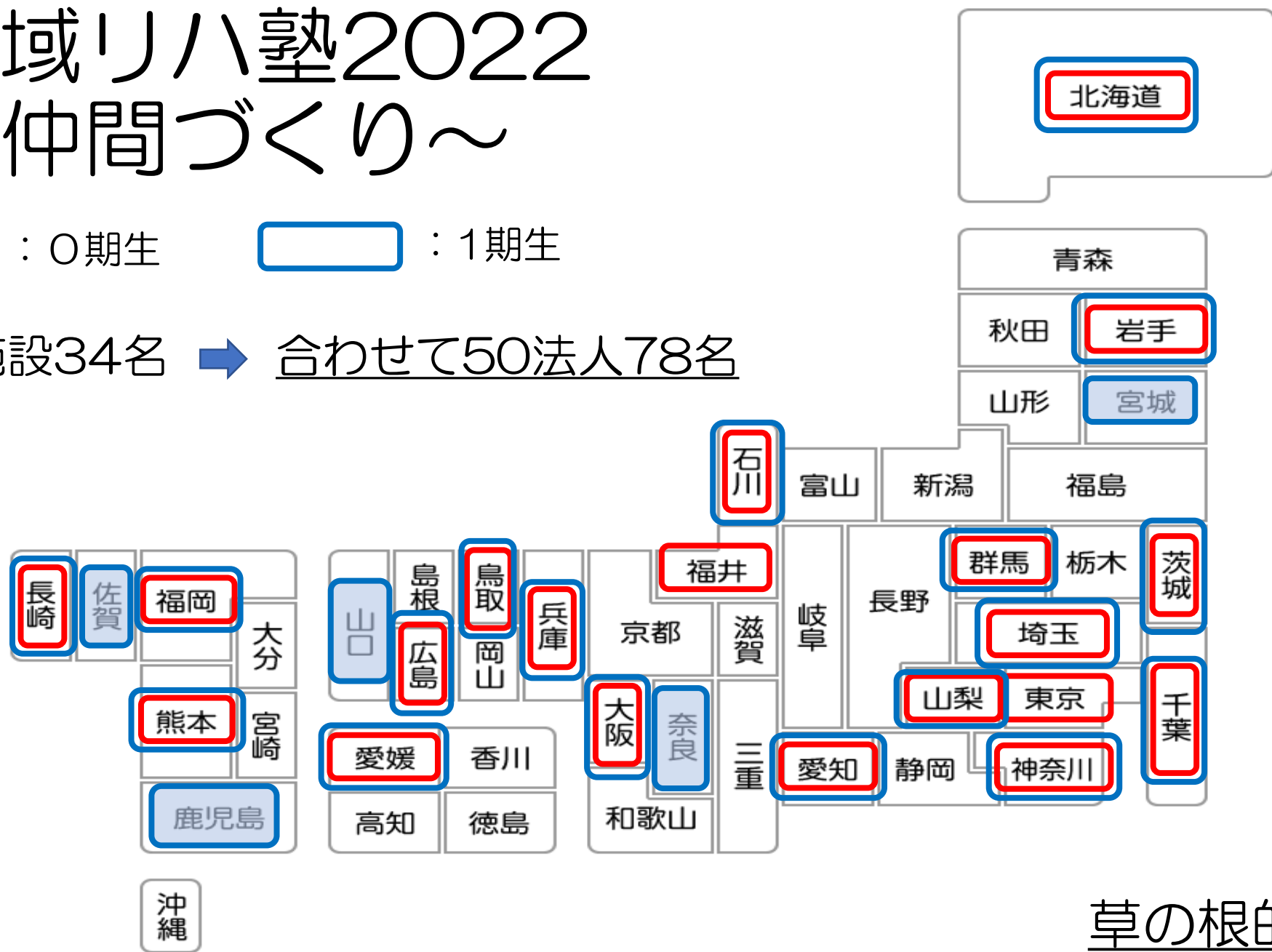
- 参加者：44名
- 形式：オンライン
- 内容：先達からリハマインドレクチャー＋グループワーク
- 職種：PT・OT・ST・NS・MSW・CM・事務職



地域リハ塾2022 ～仲間づくり～

 : 0期生 : 1期生

34施設34名 → 合わせて50法人78名



草の根的活動を継続